



鉄建 NEWS

令和6年10月31日発行 第359号



入社して半年が経ちました！



入社して半年が経ちました。入社してすぐにHITでの研修が始まりましたが、入社前までの乱れた生活による体力の減少により最初は台木を運ぶことすら一苦労でした。しかし日数を重ねていくうちに少しずつですが鉄筋の仕分けや台木の運搬等スムーズにできるようになりました。

また、5月に玉掛け免許を取得したことで川端さんのサポートをできる時間が増えました。支店に上がってからは事務作業が中心でパソコンが苦手な私にとっては苦労する部分が多いですが、先輩方に教わりながら何度も繰り返していく中で効率良く処理できるようになってきていると思います。

わからないことばかりですが先輩方から学べることはできるだけ吸収し、来年度から自信を持って営業できるように頑張ります。 **札幌支店 古口遥都**

先輩からのメッセージ

古口君が入社して半年が経ちました。彼は非常に真面目な人間で教えたことを吸収するスピードが早く、事務処理のミスも初めから少なかったです。事務所の雰囲気にも慣れてきて先輩たちとの会話も増えてきました。

これからはお客様との会話の機会も徐々が増えてきます。自分の殻を破って古口君のキャラをどんどん出してくれることを期待しています。

札幌支店 猪野毛雅人

もう早半年なのか、まだ半年なのか・・・。

思い返すと入社して2日目に2t車のステアリングを握らせられ、3日目には顧客の位置状況もわからぬまま1人で配達に行ったのは今となっては良い思い出です。

さて入社して半年たってできるようになったことという事ですので2つ程。

1つ目はセンターの怖い先輩方とおしゃべりが出来るようになったことです。

2つ目は大型免許を取得させていただき、徐々にではありますが大型車での配達に行けるようになったことです。

これからもまだまだ出来ることを増やし、早くセンターの戦力になれる様に精進してまいります。 **鋼材センター 高橋憲二**

入社してから半年が経ち、1人で商品を出すことが増えました。まだまだ出荷間違いや積み忘れなどしてしまうことが多々あるので、しっかり伝票を確認し、周りとのコミュニケーションを取りながら、ミスを減らして行けるように頑張ります。

毎週末作業場の清掃をしているのですが、普段から綺麗に保つということを意識し、お客様にも綺麗だと思ってもらえるよう頑張っています。

最後に、一歩間違えると大怪我や命の危険にも繋がる仕事なので、周りに気を配りながら、集中力を切らすことなく、残りの半年間気を引き締め直して、大怪我なく1年締めくくれるよう、十分注意しながら作業していきます。

鋼材センター 水崎晃輔

入社して半年が経ち、2人とも頑張っています。

高橋さんは、最初は2t車で配達をしていましたが、今では7t車に変わりました。材料の積み方も違い苦労していると思います。

水崎君は、主に鉄筋と角パイプの入荷、荷造りなどを行っています。山本君の指導のもと構内作業をしています。天井クレーンにも慣れてきています。

後は事故や怪我をしないように注意して仕事をしてもらいたいと思います。 **鋼材センター 富原正美**

入社してすぐの頃はわからないことが多く時間が掛かり、周りの方にいろいろなことを教えていただきながら仕事をしていましたが、少しずつ自分でできることが増えていき、調べ方もわかってきてその日のうちに終わらせられることが増え成長したと思うことが沢山あります。

ですが、電話対応や難しい入金案内などまだまだわからないこと、できないことが沢山あるので、教えていただいたり先輩をみて勉強したりして少しずつできるようになっていきたいです。 **総務部 江藤和**

入社当初は仕事を覚えることに手一杯でした。半年経つと、わかる業務が増え、仕事の優先順位も徐々にわかってきました。スピードも早くなりました。

特に、手形や電債の入金処理にかかる時間が大幅に短くなり、成長を感じます。課題は、正確さと臨機応変な対応力です。いつもと違う出来事がおこると、フリーズしてしまいます。先輩社員の様子をみながら、どう対応しているのか学んでいきたいです。

また、尊敬できる社員が数名できました。彼らをお手本にして日々の仕事に取り組んでいきたいです。 **総務部 橋詰日翔**

江藤さん橋詰さんが入社して半年経ちました！

最初は覚えることがたくさんあってすごく大変だったと思います。

今では教えなくても一人でできる仕事が増えていて、心も時間もゆとりができて助けられています。

わからないことがあればたくさん聞いてもらいたいです！！

これから覚えることもまだまだありますが、一緒に頑張りましょう！(^^)！

総務部 阿部久麗亜



今年の9/14～9/16開催で全道シニア50サッカー大会の北見モイフスポーツワールド会場で撮った集合写真です。

私の所属チームは「GTO十勝FC」で3年前から古くからのサッカー繋がりのあるメンバーで十勝から全国大会に行けるチームを作ろうと結成されました。

初出場での大会結果は、準決勝で前年度チャンピオンチームに敗北して北海道3位という結果でした。

前半1-0でリードしていましたが後半に逆転され掴みかけた全国が手からすり抜けていきました。試合終了後に控室に戻り着替えをしている横に号泣している先輩が来て、私も我慢していた感情が爆発して50歳ながら声を上げ泣いてしまった・・・サッカーで泣いたのは高3以来、3年間真剣に本気で全国大会出場を目標に取り組み夢を追いかけチャレンジしたからこそ涙、悔いはない！おっさんだけどこんな経験・青春ができるなんて自分の人生で最高の思い出の1ページになりました。

建設部 古田勝己



橋詰おすすめの本紹介

3つのポイントから本を選んでみました。

- 簡単
- 学びになる
- どの章からでも読める

新・
プラターク
英雄伝

book
-1-

たった1章でカエサルの生涯がわかります。ガリア戦記に入る前に読むとわかりやすいです。

人間
というもの

book
-2-

“偉人の性格描写”に定評のある司馬遼太郎。本書は、司馬作品群中から人物評集だけを集めた濃い1冊です。

企画脳

book
-3-

ヒットメーカー秋元康の、異なる考え方が学べます。著者と自分の思考の差を知るだけでも楽しい本です。

名将
言行録を
読む

book
-4-

行け時のなつかしい言葉、戦国史の空白を埋めてくれる朝読みの気が読めます。



はまじと
ももこと
三年四組

「さくらが突然ぼくらの前から消えて一年以上が経った。」(浜崎憲孝(はまじ)著。はまじとさくらももこと三年四組。青志社。2020。p.10)という一文から始まるこの本は、国民的人気アニメ『ちびまる子ちゃん』に登場する“はまじ”こと浜崎憲孝氏が同アニメの原作者さくらももこさんの死後出版した作品である。

本は大きく分けて『ちびまる子ちゃん』に登場するキャラクターのモデルとなった同級生たちにインタビューを行い近況やさくらももこさんについて対話している章と、はまじ視点で小学生時代を振り返る章に分かれている。

当たり前だがどのキャラクターもアニメではモデルとなる人物を誇張して表現しておりさくらももこさんの人間観察力と表現力の豊かさが感じられた。

本を通して伝わってくるのはさくらももこさんに対するはまじの感謝の気持ちである。高校を中退し芸人を目指し上京するも挫折し地元に戻りその後職を転々としたはまじだが、さくらももこさんに触発され自身も本を書きたいという思いを抱き実際に書き上げるまでに至った。人生でここまで熱中して何かをやり遂げたことは過去になかったというほどだ。『ちびまる子ちゃん』の登場人物として描いてくれたことに対して感謝を述べていた。

はまじは『ちびまる子ちゃん』にあやかり何冊か本を出している。が、根っからの作家ではない。文章はあまりうまいとは言えないがそれ故難しい表現が使われておらずとても読みやすい。読んでいて疲れないので気楽に読める本を探している方はぜひ手に

取ってほしい。 札幌支店 永満 理恵

編集後記

10月も終わりになり紅葉が：とりたいところなんですが、【秋】ありましたか？笑

数日前まで半袖でも大丈夫なくらいの気温だったのに急に上着が必要になり、あつという間に初雪もっ少し【秋】をゆつくり満喫したかった…笑
さて、ここから年末に向けて皆さん忙しくなると思いますが（仕事に飲み会に…笑）体調管理に気を付けて、今年最後まで走りぬきましようね〜！
タケダ